

興福寺濫觴記

享保二年(1777)以後か。興福寺の諸々について記述。

六 春日社末社之事

大宮内院七社

指瑞籬之内
謂二内院一

手力雄神社 天手力雄神也

信濃國戸隱明神是也。

飛來天神社

天御中至尊也。亦
名三國常立尊一。

八雷神 八座

大雷 火雷 土雷 稚雷

黑雷 山雷 野雷 烈雷

所謂八雷神是也。

栗辛神社 火酸芹命也

隼人祖神是也。

海本神社 大物主命也

三輪明神是也。

杉本神社

二坐

大山咋命。
若山咋命。

山城國葛野郡松尾明神是也。

佐軍神社 田心姫也。

筑紫國宗像明神是也。

（以上が「大宮内院七社」で次に「大宮中院八社」と続
く）

註 国立国会図書館デジタルコレクションで「興福寺濫
觴記」を検索。「大日本仏教全書 119」（DOI

10.11501/952823）の 218 コマ目。